

感染抑止と経済活性化の施策を支援するための 人流リアルタイムモニタリングに基づくシミュレーション

ご提案資料

2020年7月20日

 株式会社三菱総合研究所

概要

研究開発領域	RQ1 「第二波対策」として必要な「感染予測・対策の効果検証」（SIRモデルの代替となるモデルの確立）、「必要な医療リソース（病床・医療物資等）の需要予測と最適配置」
代表提案者 所属機関	中條 覚 株式会社三菱総合研究所
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 東京大学空間情報科学研究センター 教授 柴崎 亮介 ✓ LocationMind株式会社 ✓ エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社
目的	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人の地域間移動に伴う地域別感染拡大リスクの把握 ✓ 接触制限・移動制限対策に伴う経済の関係把握
テーマ概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ リアルタイムに近いGPSデータを活用し、全国の人流（地域別）を詳細に把握、各種条件下でのシミュレーションを実施する。 ✓ 既存研究の成果にリアルタイム人流データ、消費データ、感染データなどのデータを用いて、人流の変化に伴う感染リスクの変化や経済・雇用インパクトへの影響（業種別、地域別）をシミュレーションを行う。 ✓ シミュレーションから、1日～数日遅れでの感染リスクや家計消費動向などを算出する。
開発完了、社会 実装の想定時期	2021年1月
関連する既存研究	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人流データを用いた新型コロナウイルス感染症の各地域への流入リスクの推定 ✓ 外出規制に伴う感染抑制・経済活動低下に関するシミュレーションモデル など